

村づくり推進室 室長殿

いつもお世話になっております。
脱炭素事業の件につきまして、宇留賀区民の意見、疑問等まとめましたので
来たる8月2日の説明会には、誠にお忙しい中恐縮ですが
区民の意見書に回答していただき配布していただけたら幸いです。
時間短縮にもなうと思います、何卒宜しく申し上げます。
より良い事業になりますよう願っております。

令和5年7月18日
宇留賀 区長

1) 説明会にあたってのお願い、脱炭素事業に対する意見など

- ① 横文字が多く理解できないので、分かりやすく説明をお願いします。
- ② 私たちを取り巻く環境が、コロナ、戦争、気候変動による災害など、いつ何が起きてもおかしくない状況で、自分たちの身を守ることを第一に考える必要が出てきました。村が脱炭素、地域課題解決の同時実現に向かって取り組んでくれることはありがたいです。でも、この事業が本当に子や孫、その先の世代まで、生坂村の美しい自然環境と村民の安心・安全な生活を守ってくれるのか不安もあります。
- ③ いくさか創造の森プロジェクトについては、参加していませんが意味ある活動と思っていました。毎月の広報もあまり読んでいませんでした。脱炭素事業が、今年の2月に環境省に先行地域の申請がされ、4月に採択されて、60億円規模で始まることをつい先日知り、驚いています。補助金を除いた自主財源的な部分も、金額が大きいので大丈夫かな？と少し心配です。そもそも太陽光発電が、エコロジー、サステナブルなのかなど基本的なことから疑問があります。どちらかといえば、事業に反対の立場です。もう始まってしまったので今は少し残念な気持ちですが、よい結果になるといいと思います。
- ④ 水面下でごく少数の者だけで決めて、村民や現場の人によく知らせないまま、勝手に進めるのは本当にやめていただきたい。こんなに大きな計画なのに、フタを開けるまでほとんどの村民にとって寝耳に水の話です。本来だったら、村民投票でもしてから決めるべきこと。
ビジネス側の見方しかない外部の人間の言うなりになって、この村の景観を壊すなどありえない。なぜデメリットを見ずに、いいように丸め込まれてしまうのか。アウトドアフェスティバルの時と一緒。この村が気に入って外から来る人間は、よそではなくなりつつある美しい景観や、のどかな里山風景を求めて来るのです。この村を思えばこそ、死守するべきものだと思います。
- ⑤ 生坂村の美しい自然環境に魅せられ移住してきました。ソーラーパネルの設置が、果たしてこの自然環境を守っていくことにつながるのか？みんなが安心して過ごしていける未来を、ゆっくり話し合いながら決めていける村にしていって欲しいです。
- ⑥ 太陽光発電システムがいくら環境によいと言われていて、節電になり経済的な利益があるといっても、メリットばかりの完全なよいシステムではありません。しっかりと基礎的な太陽光発電のデメリットを知ることで、業者に的確な質問や確認を行い、間違っって導入することがないようにしていただきたいと思います。
- ⑦ 今、私が思うゼロカーボンを意識した行動…これから何かを導入したり、村に何かを増やしたりするのではなく、限りある電力を節約して、「足るを知る」ことを、今一度、一人一人が考え直すことではないかと思います。

- ⑧ 2002年2月の生坂村の人口…2467人、2023年3月の人口…1685人

20年間で800人の人口減で、後20年後には800人しかいないかもしれない…現実がある。今生まれた子が20才の時、ソーラーパネルだけが残る???これからの時代、近代化の中で、子供や孫のイノチのことを深く考えなければいけない。ちゃんとリスク管理を伴った行政でなければ自滅します。

2) 全体的なこと

- ① カーボンニュートラルは地球規模で取り組むべき課題であり反対はしませんが、この小さな村が先行して取り組んだからといって、環境が急激に改善し、異常気象がなくなるものではない。すごく気の長い話かと思います。そもそも何故生坂村が先行してやらなければならないのですか?物事を先行して行うということはリスクも付いてくるとは思います、どのようなリスクを想定し、それをどうすれば克服できると見込んでいますか?

類似質問) 物価高騰により事業費が増えたらどうなるのか?

諸事情で事業が失敗したらどうなるのか?

- ② 60億近い税金などを使って、村民へは電気代が少し安くなることと、停電時に蓄電池があれば使える程度かと思う。結局大きな事業のお金は村外の業者に流れ、生坂はその負債を背負うようにしか見えないがどうなのか?
- ③ 発電された電気がどういう流れでどこへ行くのか?マイクログリッド・PPA オンサイト・PPA オフサイト・PPA 無し(いくさかてらすと契約はあり)といったように数通りのパターンがありますが、基本的な事が先ず解っていませんので、それぞれの電気の流れを解りやすく教えていただきたいです。(送電線を通ると託送料金がかかる、再エネ賦課金がかかるなど)
- ④ ソーラーパネルと蓄電池、ベレットストーブを予算の範囲内で設置してもらうわけですが、希望者が多数の場合は公開抽選をしますか?不公平が生じますので、村民が納得するような方法をとっていただきたいです。
- ⑤ 脱炭素に至るシナリオについてのグラフは、生坂村をシュミレーションして作られたものですか?人口減少が進む北部集落では、なりゆき(BAU)シナリオでもよいのではないかと思いますがいかがですか?
- ⑥ 今後事業を進めるにあたって、毎年度の計画、及びそれらに係る予算の明細を公表していただきたいと思います。地域エネルギー会社の収支決算は、村民に公開されますか?

2) 地域エネルギー会社について

- ① 生坂村が脱炭素先行地域に採択され、国からの補助金をベースに地域エネルギー会社を設立することですが、子や孫の代以降に続く事業の中で、リスク管理のシュミレーションがとても重要になります。村民が最終リスクを負わなくても済む方策を具体的に教えてください。
- ② 地域エネルギー会社は具体的にどこに建設し、従業員何人くらいの規模になるのですか？スキルや資格をもった人材を、村内で果たして雇用できるのでしょうか？
- ③ 電力会社の取締役は、報酬を受け取る予定ですか？株主は配当を受け取りますか？電力会社の利益は、村民に還元されますか？利益の使い方について、発起人の会社とはどのような話し合いがなされ、合意が得られていますか？
- ④ 電力会社の業務を行うのに、人件費などを含めて年間どれくらいの経費を見込んでいますか？
- ⑤ 会社の収益は電気料金だけですか？毎年確実に黒字経営できるのでしょうか？もし赤字になったら、村で補填をするのですか？
- ⑥ 発起人の会社を新聞で見ました。知らない会社もあるので、それぞれがどうしていきさかてらすの発起人になったのか、経緯を教えてください。
- ⑦ 売電するときは、中部電力の電線を使うと思います。余剰電力を売電する場合、確実に買い取ってもらえますか？その時はFITを使うのか、どのような契約で売電する予定ですか？
- ⑧ 地域エネルギー会社から電気を買う方が、現状の中部電力よりどのくらい安く買えるのですか？また、中部電力との契約はどうなるのですか？
- ⑨ 再生可能エネルギーで発電している新電力と契約しています。基本料金はありません。6月の電気料金を計算してみたら、1kWあたり20.8円でした。それより安くなりますか？
- ⑩ パネル設置の契約期間が15～20年とあります。期間終了後、パネルは自分のものにならないと聞きましたがどうですか？
- ⑪ ソーラー取り付けにあたり、中部電力と契約しておいて、切り替えて使うことはできますか？
- ⑫ パネル設置の場合、15年契約だと聞きました。中途解約は可能でしょうか？その場合の村民の負担はあるのでしょうか？☆契約上の制約を教えてください。
- ⑬ 屋根にパネルをのせる公共施設の資料に、保育園、小中学校も“合意済み”とあります。日々、長時間その建物で過ごす子どもたちの☆保護者への確認が必要ではないかと思いますが、村のお考えを教え

てください。

○万が一の崩落、発火など（保小中の限りではないですが）

○パソコンの騒音もあると聞きます。小さな子どもや学びの質への影響？ 不安です。

類似質問) パワーコンディショナーは強い電磁波を発します。電磁波が人体に与える影響はまだ解明されていないのが実情ですが、発達段階にある子供達が生活する学校へ設置するのは正直、不安でしかありません。子供達が安心して健やかに生活できる環境を作っていくことが、私たち大人が出来ることなのではないでしょうか？

- ⑭ パネルを設置する、しないは選べますか？パネルが設置できる家の候補から、70才以上だけの世帯は除いたと申請書に書いてありました。高齢化が進んでいます。高齢者だけの世帯で設置したい場合はどうなりますか？
- ⑮ パネル設置後、空き家になった時どのような対応を考えていますか？
- ⑯ PPA オンサイト・オフサイト、それぞれで設備を設置するにあたり、1軒当たりあたりパネルで147万円、蓄電池に208万円かかると聞きました。(負担は全て会社)設置された家は資産価値が上がり、設置されない家と比較して不公平になりませんか？(家を売却する際に差が出ませんか？)
- ⑰ 遊休農地にソーラーパネルを設置する場合、農地転用手続きは誰が行うのですか？固定資産税はどうなりますか？設置後、ソーラーパネル周辺の草刈り等、維持管理は誰が行うのですか？個人の遊休地、区に設置する野立ての場合、それぞれで教えてください。
- ⑱ ソーラーパネルの設置、メンテナンス、補修点検、故障した時の修理、不要になった時の撤去・廃棄、パネルの新設は全て電力会社で行うと聞きました。例えば、個人宅・個人の遊休地のパネルに雪が積もった、汚れたなどの場合は、雪かきや掃除は個人で行うのですか？会社がやってくれるのですか？また、不要になったパネルや蓄電池は、本当に何があってもいくさかてらすが回収してくれますか？
- ⑲ 賃貸の家に関して、パネル等設置する時の決定権は家主にあるのですか？大家が設置すると言って、居住している人が嫌だと言った場合はどうなりますか？設置の場合、居住者は自動的にいくさかてらすと契約になりますか？

4) 太陽光パネル等について

- ① 発電をソーラーパネル以外のものでできないでしょうか。パネル(大半は中国製)の材料は人体に有害なものかなり使われており、使用期限が過ぎ、廃棄処分するのにも同様のことが問題となっており、まだ解決策が見つかっていないようです。したがって、新会社の業績悪化の要因となることが予想されますので、ソーラーパネルの使用を再検討すべきです。

- ② ソーラーパネルには、破損・劣化などした場合、雨などで流れ出ると人体、土壌環境等に有害な物質が含まれています。タイプにもよるようですが、そのタイプは把握していますか？
☆メーカー（製造会社）、モデルタイプ（製品ナンバーなど）を教えてください。

- ③ 災害が来てパネルがダメになるだけの事なら良いけど、人や家屋が巻き込まれて何かあった場合の補償は？それも大勢だった場合は？

- ④ ソーラーパネルには、ホットスポットという、一部に汚れなどがあると発電できず、発熱する現象があります。そのため、清掃、維持管理が大変重要と考えます。そこへの予算、人材は確保できるのでしょうか？

また、パネルの清掃時に洗剤を使う、雪の場合は塩カル等使用すると聞きました。その場合全て垂れ流され、水が汚れる等、生物への影響が懸念されます。その事はどうお考えなのでしょう？

- ⑤ 宇留賀地区は土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域が部落全体に広がっており、急傾斜地が多い。ここへソーラーパネルを立てるのは、どう考えても無防備極まりない。生坂村も活断層の上にある。2011年3月の東日本大震災や、津波によって起こった福島原発事故を見ても分かるように、何が起こってもおかしくない…。そして、原発も国民には安全ですと宣言していたのに…。何のリスク管理もされていなかった現実があるのです。

私達は、太陽光パネルによる二次災害の恐ろしさを知っておく必要があります。

太陽光パネルは、設置場所から落ちて壊れても、電線から切り離されても、水没しても日光が当たる限り発電を続けます。これは太陽光パネル特有の事です。普通は、漏電が起きるとそれを検知する装置が作動して、送電線からスイッチが切れます。それによって、発電所から送られてくる電気が遮断されるので、災害時にも感電事故が防げる仕組みになっているのです。ところが、太陽光パネルはこのような仕組みがありません。〈災害時に電気が使えますと、メリットとして発表されています。〉

○太陽光発電施設が台風や豪雨により、浸水や水没に見舞われた際には、感電の危険があります。

○2020年9月には、政府機関NEDO（国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構）の調査で、水没した太陽光発電設備に感電、漏電の危険性があることが明らかになっています。実際にパネルを水に沈めて実験したものですから、確かな結果です。

<https://www.jpca.gr.jp/news/533/>

太陽光パネル事態が水没した場合はもちろん、そこから引き回されている電線、あるいはパソコンと言って、太陽光パネルの電気を交換している送電線につなぐ装置が水没した場合も危険があります。太陽光パネル自体は屋根の上についているので水没していなかったとしても、パソコンは重いので、耐震の理由から低い場所に設置されていることが普通で、水没しやすい所にあります。屋外に置くこともありますが、屋内の場合は洗面所や玄関の脇にあるブレーカー（分電盤）の近くに設置されます。なので、パソコンやその周辺の配線が水没すると、感電の危険があるのです。そのリスクについてはどのようにお考えですか？

- ⑥ 20年後に、燃やすことができない太陽光パネルが「廃棄物」として大量に出るが、鉛、セレン、カド

ミウムといった有害物質は含まれないのか。パネルは大量のゴミになるのか？

5) マイクログリッド、小水力発電、災害時の対応について

- ① マイクログリッドを構築すれば、災害時に停電しない村になるのですか？蓄電池で数日は電気が使えるかもしれませんが、それがなくなれば停電するのではないですか？また、マイクログリッドエリア外の地域は停電するのではないですか？
- ② マイクログリッド内で電気が足りなくなったらどうするのですか？また、電気の余剰が出た場合どうするのですか？
- ③ マイクログリッド構築には、大きなお金がかかると聞きました。計画されている、上生坂と草尾ぶどう団地を結ぶ6.5kmの自営線（中電のものではない自前の電線）と、2000kWの蓄電池でマイクログリッドを構築するのに、大体いくらくらいかかると見込んでいますか？また、日々の点検作業などにもお金がかかると思います。費用対効果をどのように試算し、マイクログリッド構築を計画されたのか教えてください。小さな村の、身の丈に合ったことなのでしょうが？
- ④ 生坂ダムに設置が計画されている小水力発電所は、維持放流水を利用して100kWhの発電をする計画です。洪水吐を使う半年間は、発電ができないと申請書にありました。発電量も半年分で試算されています。この小水力発電所建築には、いくらくらいかかりそうですか？半年しか操業できなくても、採算はとれるのですか？太陽光発電は、冬場に発電量が減ると思います。洪水吐を使う季節はいつでしょうか？
- ⑤ 以前村長のブログを拝見した時、大きな災害が起きた時に、村民全員を上生坂区に避難することができるように目指すとありました。マイクログリッド内を避難地にする計画ですか？
- ⑥ マイクログリッド事業を通じて、専任の電気主任技術者、需給調整管理、電力利用徴収などの業務で、村内に新たな雇用を生み出すことができると申請書 p23 に書いてある。村内で技術者を雇用できるのか。また、全体で何人くらいの雇用を見込んでいるのか？

6) ペレット工場、ペレットストーブについて

- ① ペレット製造工場建設とありますが、申請書にあるように雲根に建設する予定ですか？従業員は何人くらいの規模になりますか？製造にあたるスキルをもった人材を、村内で雇用できますか？
- ② ペレットストーブは、部屋間で移動できないデメリットがあります。高価ですし、ペレットを買わないと使えません。普及すると思いますか？

- ③ ペレットストーブについて、どんな機能があるのか、安全に消火できるのか説明が欲しい。
- ④ ペレットは、上伊那森林組合のペレットよりも安くないと買ってもらえないかと思います。生坂の森林整備をし、そこで出た材を使う計画になっていますが、果たして材が足りるのか、切り出して運んでこられるのか、それに従事する人はいるのか、など疑問です。ペレットを作るのに、電気などもかなり必要ではないかと思います。1袋10kg入りでいくりに設定し、それが1年間でどれだけ売れたら採算がとれそうですか？
- ⑤ やまなみ荘は、ペレットボイラーより太陽熱温水器と薪ボイラーにした方が、その後の運転費用なども安くすむのではないのでしょうか？

7) 電気自動車とその貸し出しなどについて

- ① 電気自動車のシェアリング事業とありますが、その電気自動車はどこに置かれるのですか？役場に全部置かれるとしたら、中心部に住んでいる人以外は、使い勝手が悪くなりませんか？
- ② 災害時に、自家発電設備のない家に貸与して、電気の供給に役立つとあります。何台くらい保有して、災害時に各区などに何台ずつ貸与したら対応できそうですか？
- ③ 電気自動車の充電1回あたりの値段、空いている電気自動車を借りる料金はどれくらいになりそうですか？

8) いくさか『創造の森』プロジェクトについて

- ① いくさか『創造の森』プロジェクトは村営ですか？新しい産業が創出されるとありますが、具体的にはどんな仕事ですか？また、誰がそれに就業しますか？それで若者が村から流出することを防げると思いませんか？
- ② オフグリットハウスの建設費は、総額いくらくらいになりそうですか？また、周辺の道や駐車場、畑にするなどの整備には、概算でいくらくらいかかり、期間はどのくらいと考えていますか？建物などの維持管理には、年間いくらかかる予定でしょうか？赤字になり、村が補填するようなことにはならないでしょうか？
- ③ 脱炭素の啓発など大切ですが、高齢化率が43%近い村で、お金をかけてサッカーチームとイベントをすることは、村民への直接の利益になるのでしょうか？村にはいろいろな問題があると思います。もっとしなければならぬことがあるのではないのでしょうか？

9) 古民家脱炭素リノベーションなどについて

- ① 空き家定住対策・脱炭素リノベーションとありますが、行政が所有者から家屋を買い取って行政主導で行うのですか？もしそうであるなら、公正な入札をして村内の工務店に委託してください。（リノベーション塾のような、いくさか大好き隊や受講生任せの施工ではいけないと思います。）
- ② 来年度から5棟ずつ、5年間で25軒の古民家をリノベーションする予定と聞きました。リノベーションされる古民家は、どのように選ばれるのですか？全て村所有の古民家ですか？
- ③ 新築で住宅を建てるよりも、リノベーションの方が脱炭素の観点で言えば理にかなっているかもしれませんが、人口を増やす施策としては消極的に思います。北部集落にも若者移住者が増加中とありますが、高齢者が亡くなり、人口が減る方が上回っているように思いますし、5年10年後はそれが加速度的に顕著になると思います。北部地域には、上生坂区のような若者定住促進住宅を建てる計画はこの先もありませんか？

9) そのほか

- ① 配布されたパンフレットを理解できるとは思いませんが、最終的に住民は何をすべきか説明してもらいたい。

